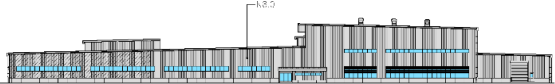
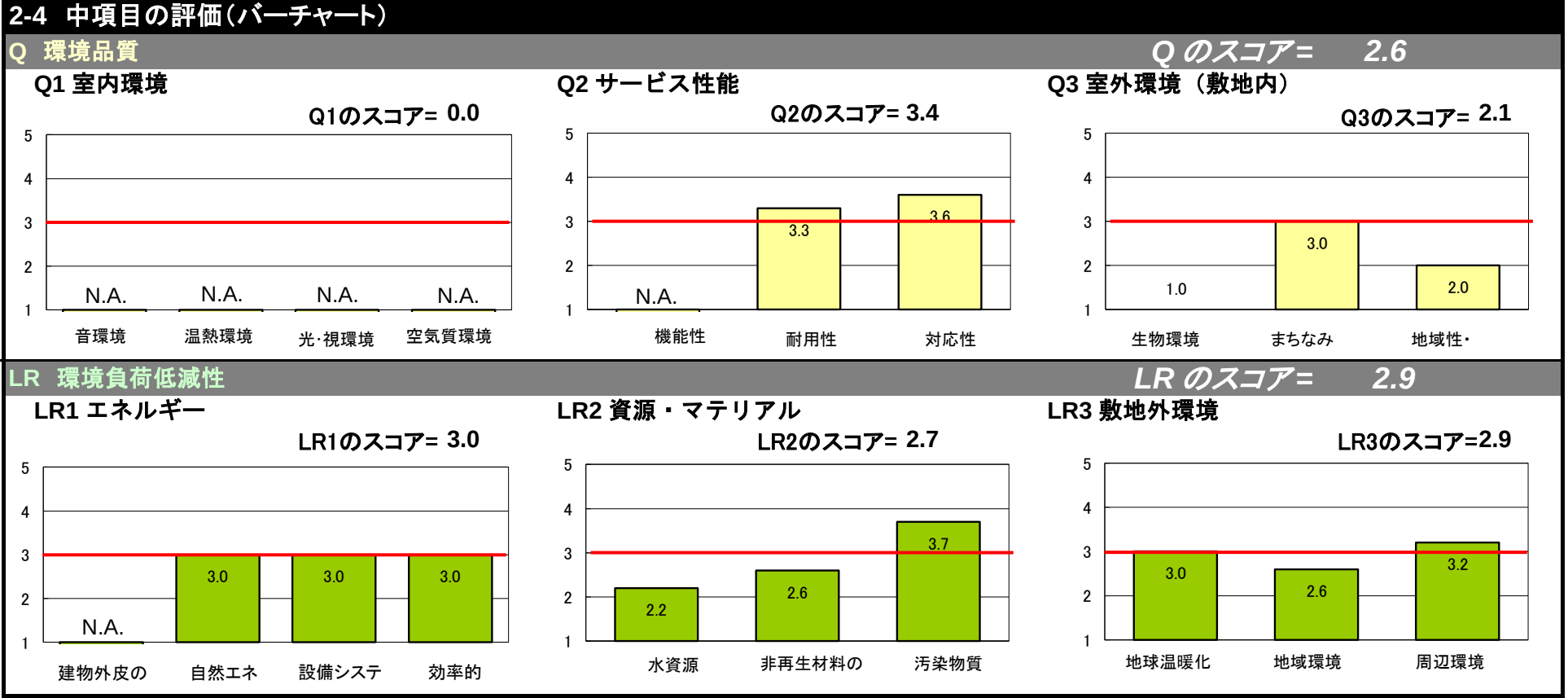
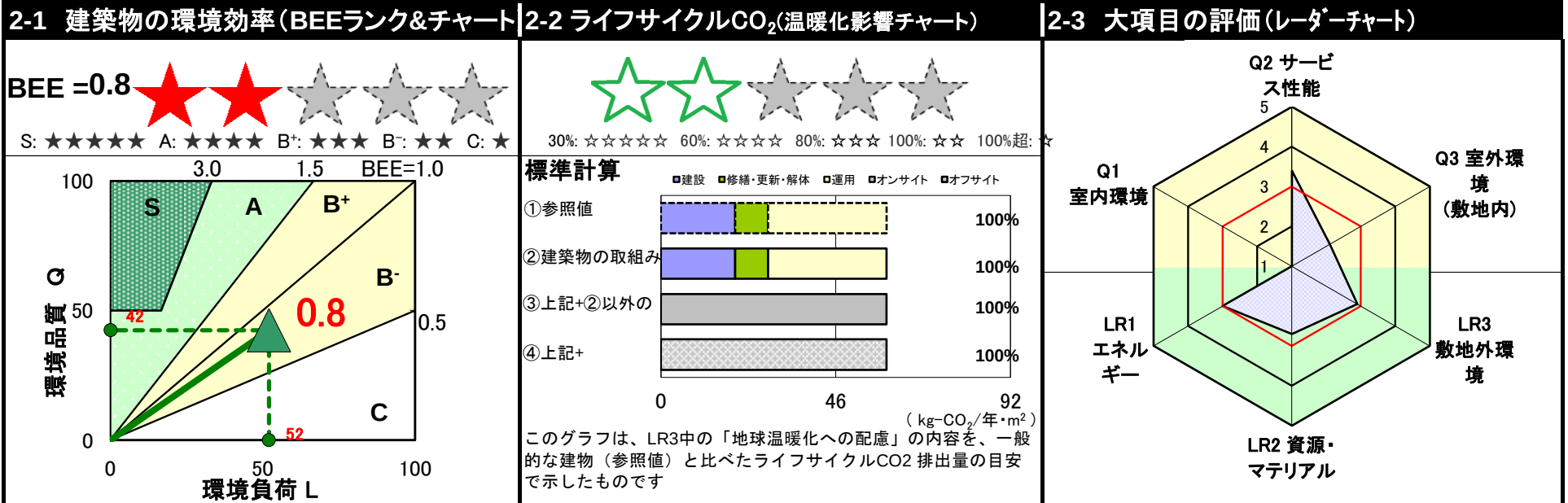


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	トヨタ自動車九州株式会社 小倉工	階数	地上2F	
建設地	福岡県北九州市小倉南区大字朽網	構造	S造	
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	70 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2017年4月 予定	評価の実施日	2016年9月27日	
敷地面積	339,356 m ²	作成者	松本拓也	
建築面積	5,857 m ²	確認日	2016年9月28日	
延床面積	17,314 m ²	確認者	定森淳一	



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	0
・耐震性に配慮し、耐用年数の長い部材を採用し、空間のゆとりを確保している。 ・緑地を確保している。 ・リサイクル性への配慮、フロンハロンの回避を行い資源、マテリアルの確保に努めている。 ・光害の抑制に努める等、敷地外環境に配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
	・高い耐震性を確保している。・空調、給排水管は耐用年数の長い材料を採用している。・機械配管指示方法は耐震クラスAと配慮している・階高3.90m以上、壁長さ比率0.03等、空間のゆとりに配慮している。	・緑地を確保している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
	・躯体と仕上材が容易に分別可能等、建物の解体時におけるリサイクル性に配慮している。 ・グラスウールを採用し発泡剤を用いた断熱材を採用しない等、フロンハロンの回避に努めている。	・光害対策ガイドラインのチェックリスト、広告物照明の扱い配慮事項の過半を満たすなど、光害の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される